



北斗句会 十月定例会（二日 偕行社） 兼題「月」「虫」

五十音順 特選は特選 石田きよし選

名月や胡坐をかきて茶碗酒 大崎石州

指揮をとる奴があるはず虫時雨 太田黒幸風

我に友友に我あり吾亦紅 大森康政

日本の闇を豊かに虫すだく 川瀬 亮

寝ころべば吾も流れゆく秋の空 竹内雲泉

稲架かけて谷地の奥なる一枚田 田中資凡

せめぎ合ふ竜と鶴翼秋の雲 長池豆陽

蝸の声の彼方へ友逝けり 深見十萬

穴太積み石それぞれの愁思かな 藤田紀潮

月今宵家路の軽く弾みけり 宮下ひかる

止まつたり行つたり来たり赤蜻蛉 森田光彦

農夫婦稲田道ゆく真つ直ぐに 山縣秀雄

日航機墜落現場虫時雨 吉岡誠山



競ひ合ふやうに曲がりぬ名残茄子 石田きよし